



株式会社 **STG**

マレーシアペナン州における
アルミニウムダイカスト製造会社の買収について

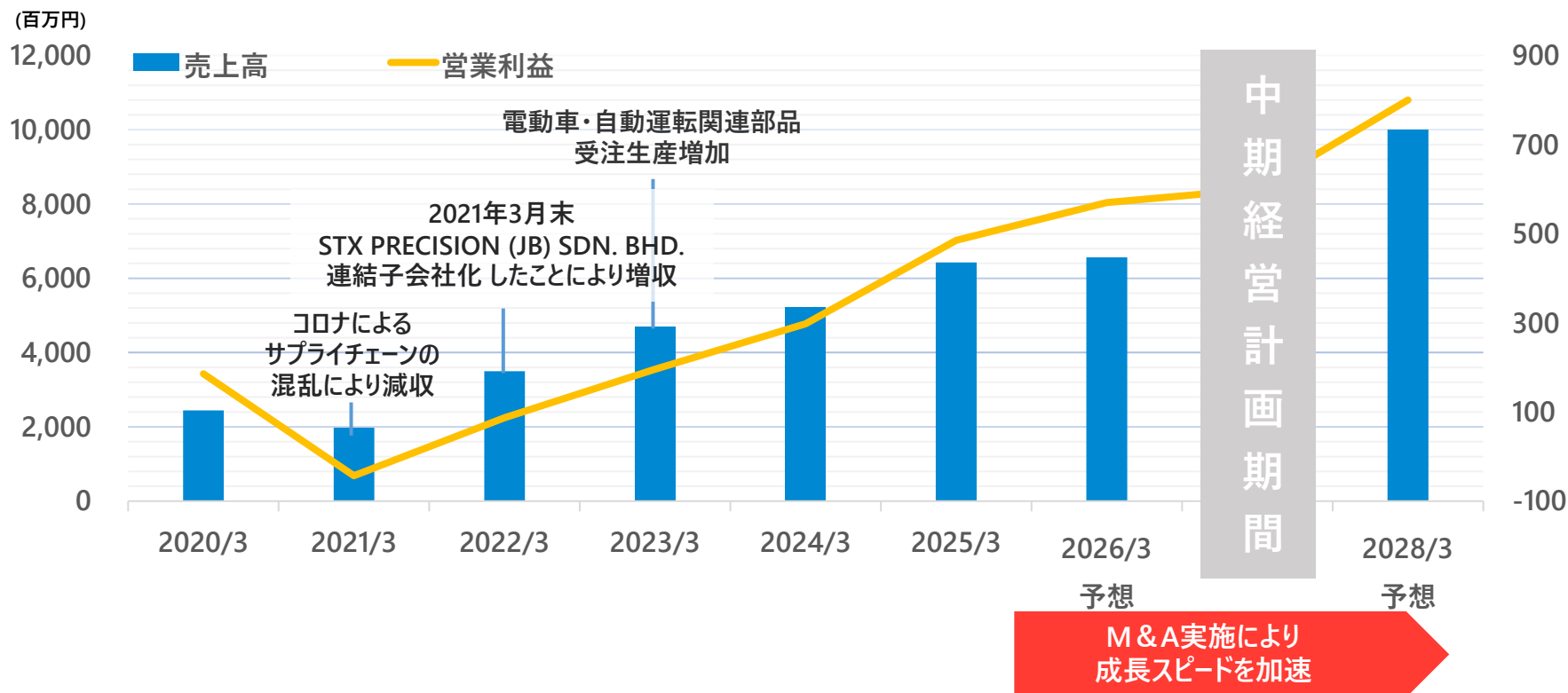
2025年9月25日

買収目的

マレーシアの高収益企業の買収により成長を加速

当社は、現在進行中の中期経営計画「Challenge 100」（2026年3月期～2028年3月期）の方針に基づき、事業の成長スピードを一層加速させるため、積極的な設備投資やM&Aを重要施策の一つとして位置付けております。

マレーシア・ペナン州にあるアルミニウムダイカストの高収益企業である対象会社の株式取得は、その一環として実施するものであり、中長期的な成長基盤の確立に資すると判断しております。



会社概要

名称

E-Cast Industries Sdn. Bhd.

事業内容

アルミニウムのダイカスト部品製造・販売

代表者

Goh Kheng Theam

所在地

Plot 3, Lorong Industri 2, Taman Industri Bukit Panchor, 14300 Nibong Tebal Penang Malaysia

設立年

1990年10月 8 日

資本金

63百万円 (1,800千リンギット)
(2025年 6 月末時点)

従業員数

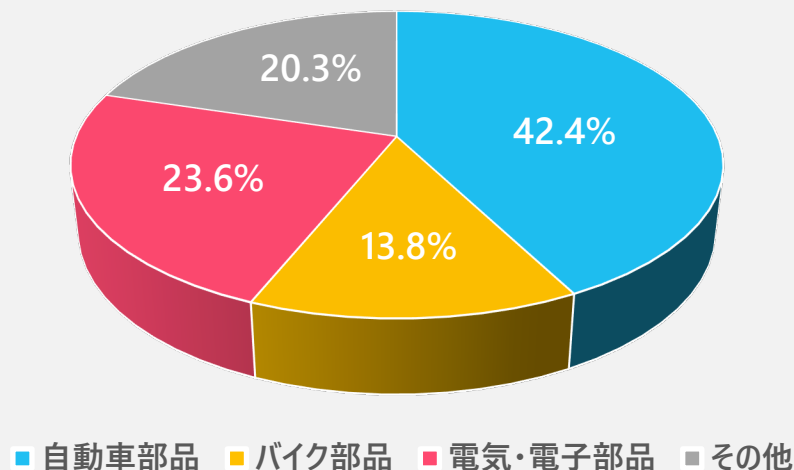
188名 (2025年 6 月末時点)



E-Cast Industries Sdn. Bhd. の特長

E-Cast Industries Sdn. Bhd.は、マレーシア北部のペナン州に拠点を置き、大手グローバルメーカーを主要顧客とするアルミニウムダイカストメーカーです。自動車部品や電気電子機械部品など幅広い製品に対応可能な技術力及び高い品質基準を兼ね備え、精密な部品を安定供給しています。

製品別構成比（2024年12月期）



財務状況（2024年12月期）

純資産	802百万円 (22,919千MYR)
総資産	1,212百万円 (34,648千MYR)
売上高	1,485百万円 (42,443千MYR)
営業利益	362百万円 (10,357千MYR)
当期純利益	287百万円 (8,206千MYR)

※マレーシアの現地会計基準MPERSに基づき作成された数値となります。

※為替レートは、1MYR＝35円にて換算しております。

期待する買収効果

- 1 継続して毎期利益を計上しており、売上高営業利益率が当社グループより高い。（2024年12月期24.4％）
- 2 品質基準が厳しい大手製造メーカーを取引先としており、高い技術レベルが期待できる。
- 3 設備稼働率に余裕があり、現マレーシア子会社の外注先として活用できる。
- 4 米中摩擦などにより、生産拠点を中国からA S E A Nへ移転させる動きがあり、日系・欧州系などのメーカーからの新たな受注が期待できる。
- 5 当社のマグネシウムダイカストの製造方法に近いダイカスト（ホットチャンバー方式）を行っていることから、マグネシウムダイカスト技術を移転しやすい。

マレーシアの投資環境

ASEANにおける投資先として、マレーシアは様々な投資環境が整っており、成長余力も大きいと考えております。

国	ビジネス・パーセプション	エコノミック・ファンダメンタルズ	ファナショナル・サービス	行政組織	国際基準・政策	インデックス合計
マレーシア						
タイ						
インドネシア						
ベトナム						
フィリピン						

全ての観点で平均よりも優れていると評価され、1位を獲得

■ 平均値+1標準偏差より大きい値

■ 平均値と+1標準偏差の間

■ 平均値と-1標準偏差の間

カテゴリ

ビジネス・パーセプション	ビジネスが直面する制約や、ビジネスが紛争を解決する容易さを測定するもの
エコノミック・ファンダメンタルズ	その国のマクロ経済の見通し、労働力の人材、将来のイノベーションと発展の可能性を測定するもの
ファイナショナル・サービス	その国において、アクセスができる金融サービスの深さ/広さを測定するもの
行政組織	その国の制度が企業活動にどの程度役立っているか/妨げているかを測定するもの
国際基準・政策	その国の国際社会の中でどの程度統合されているか、また国際基準に適合する可能性を測定するもの

測定変数

・リカバリー&解決のプロセス ・ビジネス上の制約
・今後の成長環境 ・経済のパフォーマンス ・人材
・財務アクセス ・財務規模及び財務状態
・透明性、イノベーション ・投資家の権利 ・パブリックガバナンス
・経済開放度 ・税制及び規制 ・特許及び商標

(出展：米Milken Institute社のレポートより)

中期経営計画

M & Aは、生産能力向上等を目的として取り組み、中期経営計画（3年間）の期間中においては、利益目標をゼロとしていましたが、高収益企業の買収により、最終目標値への実現に大きな一歩となりました。

（単位：百万円）	2025年3月期 （実績）	2028年3月期 （目標）
連結売上高	6,426	10,000
（既存事業）	6,426	8,000
（M & A）	—	2,000
連結営業利益	485	800
（既存事業） 営業利益率	7.5%	10.0%
（M & A） 営業利益率	—	0

売上高

中期経営計画目標として
20億円を設定している中、
売上高1,485百万円の
会社を買収

対象会社の前期営業利益
362百万円

営業利益率

中期経営計画の目標では
M & Aの実施による営業利益
の増加を見込んでいない中、
高収益企業を買収

対象会社の前期営業利益率
24.4%

※当事業年度の連結業績への影響につきましては、現在精査中です。

併せて、中期経営計画の目標も更新する予定です。

※のれんの計上額は（5億円～7億円程度）と見込んでおります。

（10年の償却を計画しており、年間償却額は50百万円～70百万円程度を見込んでいます。）

引き続き、成長戦略としてM & Aは最重要施策と位置付けており、**年間1案件以上の取組みができるように国内・国外を問わず情報収集を進めてまいります。**

今回の買収企業も含め、PMI（ポスト・マージャー・インテグレーション）を着実に行之、当社の中核事業の1つとなるように、連携体制の確立や経営体質の強化に努めてまいります。

本件に関する資金調達

買収資金については、金融機関からの借入及び自己資金により実施いたします。

財務健全性の維持

負債額は増加しますが、十分に返済可能な資金計画を策定しており、堅実な財務基盤を維持します。

安定的な キャッシュ・フロー

買収先による収益貢献とシナジー創出により、利息負担を十分に上回る安定したキャッシュ・フローを確保します。

【借入の概要】

① 借入先	紀陽銀行、池田泉州銀行、滋賀銀行
② 借入金額	2,000百万円
③ 借入金利	固定金利及び変動金利
④ 借入実行日	2025年9月29日（予定）
⑤ 返済期限	10年
⑥ 担保の有無	無担保無保証

【取得価額】

E-Cast社の普通株式	2,065百万円
アドバイザー費用等 （概算額）	152百万円
合計（概算額）	2,217百万円

※取得価額につきましては、当事者間での協議の上、今後変動する可能性があります。

※普通株式2,065百万円の内、不動産時価が約1,000百万円です。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供を目的として当社が作成したものです。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれおり、これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点において当社が利用可能な情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。これらリスクや不確実性には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。